

地域銀行をメインバンクとする 新規株式公開企業の特徴



商学部
経営・流通学科
教授
船岡 健太

研究シーズの紹介

本研究では、20年間のデータを用いて、地域銀行（地方銀行・第二地方銀行）をメインバンクとする新規公開企業は、どのような特徴を有し、また新規株式公開を実施する市場について、どの市場を選択していたのかに関する分析を実施した。本研究における主要な発見事項は、以下のとおりである。地域銀行をメインバンクとする新規公開企業は、①都市銀行をメイン

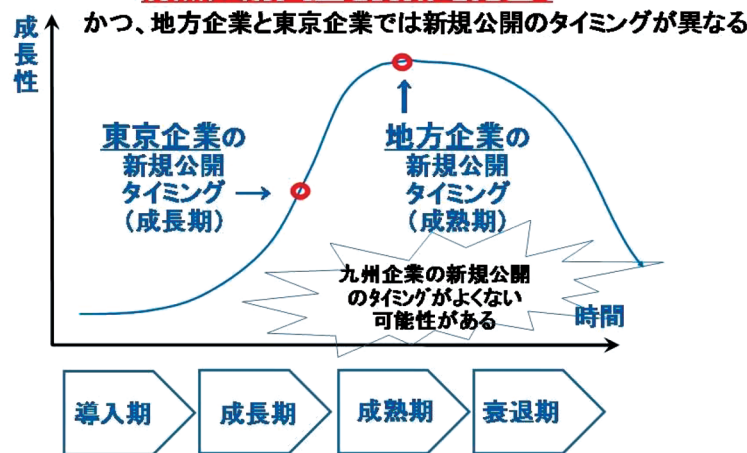
バンクとする新規公開企業に比して、資金需要が小規模な成熟企業という特徴を有する。②新規公開市場の選択に関しては、ジャスダック市場を選択していることが多く、地方証券取引所への新規上場についても貢献していることが示唆される。資金需要が旺盛な若いグロス企業が数多く上場するマザーズ市場における新規公開企業の輩出に関しては貢献していない。



新規公開企業に関するデータベース

- 新規株式公開を目指す企業に対して、特定の条件を指定することにより、これまでに新規公開を果たした企業の特徴を提供することができます。このような情報は、主幹事証券会社の選択やベンチャーキャピタルとの交渉において有用です。

地域銀行をメインバンクとする新規公開企業は、資金需要の小さい成熟企業という特徴を有する



期待される活用シーン

● これまでの新規株式公開の中で、メインバンクが地域銀行であった九州の企業の特徴を知りたい



本研究のデータベースを用いることにより、知ることができます



売上高	〇〇〇
営業利益	〇〇〇
経常利益	〇〇〇
当期純利益	〇〇〇

● これまでにマザーズ市場で新規公開を行った企業の中で、メインバンクが地域銀行であった九州の企業の特徴を知りたい



成長企業が数多く上場するマザーズ市場にこれまでに新規公開を果たした九州企業の特徴を知ることができます



売上高	〇〇〇
営業利益	〇〇〇
経常利益	〇〇〇
当期純利益	〇〇〇

その他の研究テーマ

新規株式公開時のアンダープライシングの発生要因に関する研究